

手に手を

令和元年5月22日

第79号

発行 一般社団法人 西宮市手をつなぐ育成会
〒663-8241 西宮市津門大塚町1-47
TEL 0798(33)7713
FAX 0798(33)7743



育成会フォーラム2018

みんなですすめる『安心』のまちづくり part2

★日 時：平成31年2月11日(月・祝) 10時30分～14時30分

★会 場：西宮市役所 東館8階 大ホール ★参加者：106名



育成会フォーラム2017の続編、「みんなですすめる『安心』のまちづくり」をテーマに育成会フォーラム2018を開催しました。

前半は、前回にもお話をいただいた、全国手をつなぐ育成会連合会政策センター委員・機関誌「手をつなぐ」編集委員・内閣府障害者差別解消法アドバイザーの又村あおい氏をお招きし、「～地域生活支援拠点・西宮モデル～」と題してお話ををしていただきました。

昨年のフォーラムから1年3ヶ月が過ぎ、事前に又村氏から「西宮市・地域生活支援拠点の機能チェック」アンケートをいただきました。以前実施した会員向け「要望書に関するアンケート」を参考に回答させていただき、「育成会として、残念ながら実感が得られていない」という結果になりました。それを基に西宮市の地域生活支援拠点の機能がどれだけ整備されているかを考えた時、本当に進んでいないのか、行政と育成会の間に認識のズレがあるのでは、というご指摘がありました。

この現状において、改めて5つの機能（①相談支援機能 ②体験の機会・場の提供機能 ③緊急時の受け入れ・対応機能 ④専門的人材の確保・養成機能 ⑤地域の体制づくり機能）について、各機能の課題や取り組み方法など具体的なお話があり、その機能がどういうレベルに達したら合格なのか、という出来上がりの絵を皆で共有でき、そこから実現できるよう整備を積み上げていくことが大事である、という又村氏のお話に1つの方向性が見えた思いました。

最後に、西宮市では現状で行っている取り組みや体制整備が理解出来る形で伝わっているのか、相談サービスの組み合わせなど社会資源を活用できているのか、それぞれの立場の方々に面的整備として現状で対応できている部分をしっかりと発表していただきたい、というお言葉で午後からのシンポジウムに繋げていただきました。





- ◆パネラー 松田 成弘 氏（西宮市 生活支援課 課長）
 和田 寛之 氏（西宮市 障害福祉課 係長）
 清水 明彦 氏（西宮市社会福祉協議会 常務理事）
 角野 太一 氏（西宮市地域自立支援協議会 会長）
 古川 勝 氏（社会福祉法人 一羊会 理事部長）
 近藤 真由美（西宮市手をつなぐ育成会 会長）
- ◆コーディネーター 又村 あおい 氏



午後からのパネルディスカッションでは、又村氏にご助言をいただきながら、登壇者の皆さんには地域生活支援拠点の整備についての現状や今の取り組みと問題点、そして今後の展望など、それぞれの立場でお話をいただきました。

又村氏からご紹介のあった自立支援協議会が高レベルで機能を果たしている他市の取り組みについて、市の方から「西宮市でも出来そうだと思うものがあった」という頼もしい発言があり少し希望が持てたように思います。

色々な立場の方が、それぞれの役割について改めて考え、方向性を共有し、共通理解をする良い機会になりました。地域生活支援拠点の整備に無関係な事業はない、それぞれの立場の方々と一緒に活動していく、という方向性を大切にしていきたいと深く感じたフォーラムでした。

ご参加いただいた皆様、有難うございました。



★成人群 西宮いきいき体操

平成31年2月19日（火） 参加者 26名



西宮市地域共生推進課 健康づくり支援チームの山川淳一氏、他2名を講師にお迎えして「西宮いきいき体操」の体験会を開催しました。

「西宮いきいき体操」は手と足におもりをつけて簡単な動きをします。椅子に座ったままできるので、体力に自信のない方でもでき、筋力向上や転倒予防などに効果があるそうです。今回は体験ということでおもりはつけずに行いました。動作をしながら

クイズやゲームをする脳トレのコーナーもあり、講師の方の絶妙なトークも楽しくて体も脳も活性化しました。

また「西宮いきいき体操」を実践されている方の実例を紹介していただいた時はその劇的な変化に驚き、続けて効果があるのだと実感しました。講師の方からも継続して参加することで運動習慣が身につき、地域での茶話会などの交流や仲間作りの機会にもなっているとお話をありました。

参加者からは「わかりやすくとても楽しかった」「今後の生活に取り入れたい」などの声が寄せられ好評でした。



まずは自己紹介から…



みんなで口腔体操！



美味しいお弁当タイム

★学齢＆成人群 コラボ親睦会

平成31年3月8日（金） 参加者 43名

今回初めて学齢期部と成人群のコラボで親睦会を開催しました。年代や所属を超えて普段感じていることや悩みごとなどを皆さんで気軽に話そうと企画された会です。当日は今年卒業を迎えた高校3年生のお二人も参加してくださり皆さんでお祝いしました。

くじ引きで席を決め、初めてお会いする方や日ごろあまりお話する機会がない方と同じテーブルを囲み、最初は少し緊張しながらも同じ立場の親同士、すぐに会話も弾んでいました。梅谷理事の口腔体操のレクチャーの後、みなさんお楽しみの美味しいお弁当をいただきました。

午後からはアンケートに書かれた悩みや質問に対してお互いに話しあったり、アドバイスをしたりでたくさん参考になる話を聞かせていただきました。参加した皆さんから「楽しかった」「参加してよかったです」「またやってほしい」などの感想もいただきました。ぜひ次の機会につなげていきたいと思います。

カラフル

～みんながつながるフェスティバル～

平成31年1月27日（日）西宮市総合福祉センタースポーツ室にて『カラフル～みんながつながるフェスティバル～』が開催されました。

このイベントは、西宮市手をつなぐ育成会と西宮市教育委員会との共催で、西宮市内の青年生活学級や移動支援事業所など余暇支援を行っている団体の協力を得て開催されました。

出演は「すずむしバンド」「ザ・くらぶあみーごズ」「和太鼓ふたば」「よさこいチーム」です。「よさこいチーム」は育成会の余暇活動で結成され、2回の練習を頑張り、本番当日はその成果を見事に披露しました。大いに楽しみ盛り上りました。

参加人数は、211名（本人・家族122名、その他89名）でした。体育室も超満員、体験や飛び入り参加もあり、皆さん楽しいひと時を満喫していました。

みんなで踊ろう! よさこいチーム



KIDSダンサーたちの参加もあり
大いに盛り上りました



KEEP IT RIGHT DANCE SHOPの
北尚果先生の指導で、よさこいチーム猛練習中!!
頑張っています



よさこいチーム 全員集合!!

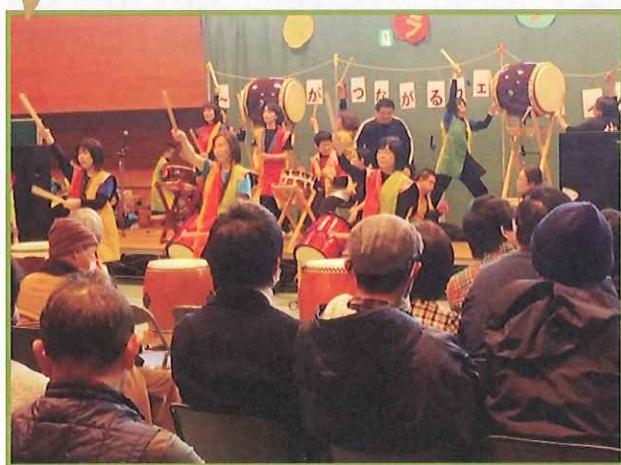
★ すずむしバンド



★ ザ・くらぶあみーごズ



★ 和太鼓ふたば



アンケートより

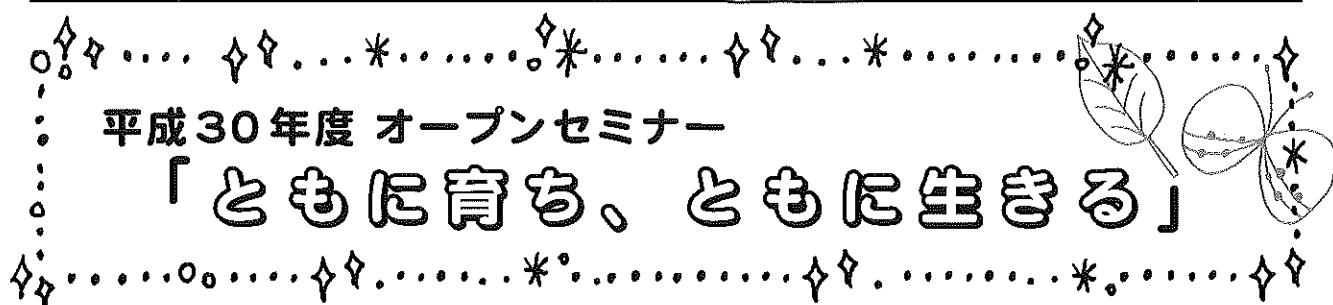
- * たいこがじょうずにたたいていた
おどりがよかったです
みんなよかったです
- * ソーランぶしをみんなのまえで
おどったから、たいへんたのしかった
- * なまでおんがくをきけて、
たいへんたのしかった
じかいもぜひさんかしたい
- * らいねんはにんぎょうげきをみたい

* 作業所でいつも一緒に働かせていただいている方々の違った一面を見ることが出来てとても嬉しかったです。皆さんキラキラしていて素敵でした。

* 出演者も観客も一体となった内容で、とても良かったと思います。この企画に参加出来て良かったです。ありがとうございました。

* みんなが、大喜びでしたので最高に良かったと思っています。

当日ご参加、ご協力くださった皆さま、ありがとうございました。



平成30年度 オープンセミナー

「ともに育ち、ともに生きる」

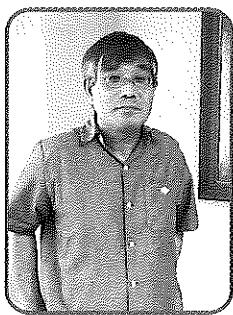
日々の生活の中で起こる小さなトラブル、発達やコミュニケーションに悩む方々への情報提供の場として、今年度も3回のオープンセミナーを開催しました。

第1回 「知的・発達の気になる子の理解と支援体制づくり」

日 時：平成30年9月13日（木） 西宮市総合福祉センター

参加者：70名（会員28名、一般42名）

講 師：日本相談支援専門員協会顧問・長野県自立支援協議会会长 福岡 寿氏



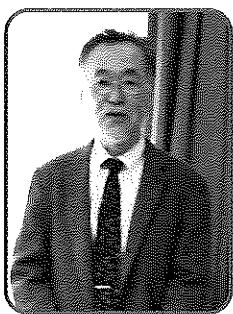
先生が支援してこられた子どもたちの事例を挙げて、家族、保育園、学校や周囲ができるだけ早い時期に発達の特性を理解して適切な支援をすることの必要性を、具体的なエピソードを交えて熱く語ってくださいました。

幼い時期から、得意な所は伸ばし、苦手なことは子どもを取り決めをしながら、本人が困らないように支援をしていくことが必要です。

「みんなと同じように行動すること」や「とにかく学校へ行かせること」など、親、支援者が、自分たちが望む風景に当てはめようとすると適応障害へと追い込んでしまうことも。「家族に社会性は教えられない」などのコメントも心に残りました。

長野県における、幼児期から本人の家族の不安に寄り添う「伴走型」の支援体制や、福祉と教育の連携による「特別支援教育連携協議会」の取り組みなど、地域の仕組みづくりにとっても示唆に富むお話をしました。

第2回 「子どもの育ち～障がいのある子どもとの 関わりを通して学んだこと～」



日 時：平成30年11月19日（月） 西宮市総合福祉センター

参加者：53名（会員28名、一般25名）

講 師：関西学院大学 人間福祉学部・人間福祉研究科 教授 井出 浩氏

井出先生は児童精神科の医師でもあり、今回は主にASD (autism spectrum disorder) 自閉症スペクトラム障害の子どもたちについてのお話をしました。

人は相互的に働きかけながら人間関係が育っていくのですが、ASDの子どもたちは母親との愛着関係をはじめ、他者とのこうしたやり取りが苦手です。

幼児期には、人といで楽しい経験を少しでも増やすこと。問題に直面した時には、どうしたら良いかを具体的に伝えるようにします。

また児童期には、集団で行動することの難しさや特性の困難さが強調されますが、大人からの伝え方が雑になり、ほめることが少なくなる傾向があるので、その都度、具体的に口に出してほめてあげることが重要だということです。

障害がある、ないを問わず、短時間でもいいから向き合い、かかりっきりになる時間を持つことの大切さを語られ、『自分を見てくれている』と愛情を感じることの積み重ねが社会性につながる、と結ばれました。

第3回 「子どもを見つめる確かなまなざしと暮らし支援」

日 時：平成31年1月28日(月) 西宮市総合福祉センター

参加者：55名（会員24名、一般31名）

講 師：ノートルダム清心女子大学 人間生活学部・児童学科 准教授 青山 新吾 氏

先生が小学校の教師だった時代に『幼稚園でだけお弁当を投げてしまう』子どもを支援された体験を、エピソード語りという手法で詳しく紹介してくださいました。

園の先生方や両親はもちろん『本人も困っているけれどやめられない行動』にどう支援していくべきか、とても具体的でわかりやすいお話でした。

また別のエピソードでは、「本人が言っていること」と「本当に思っていること」が同じなのかどうか。言葉でコミュニケーションできなければ、繰り返し触れて、一緒にやっていくことが大切であると語られました。

最後に「家族の流儀を大切に」とのお話の後、障害のある兄弟を持つ方の言葉を紹介されました。「そんなに悪いことばかりじゃなかったよ」、「選んだ結婚相手がお兄ちゃんの好きな入浴剤と一緒に買いに行ってくれる人だった」というお話に、思わず涙する参加者もいました。深い学びと共に、心が温まるセミナーでした。



おめでとうございます

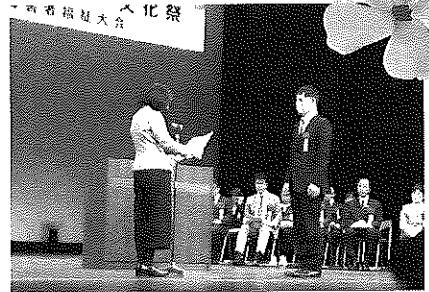
平成31年2月24日、兵庫県立芸術文化センターにおいて平成30年度兵庫県障害者福祉大会が開催され、5名の方が知的障害者就労表彰を受けられました。



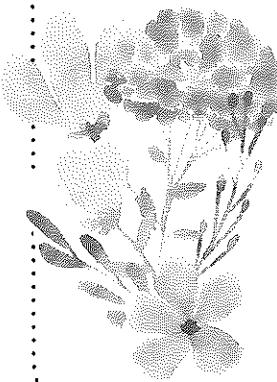
新宮堅一さん
(ヤマト運輸株式会社)
10年表彰



永瀬孝子さん
(布亀株式会社)
10年表彰



20年表彰の代表として竹村さんが
表彰状を受け取られました。



堀 貴士さん
(エルホーム芦屋)
20年表彰



竹村広造さん
(有限会社中島物産)
20年表彰



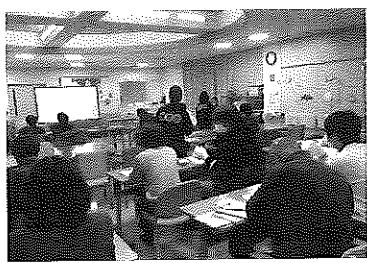
萱田 健さん
(エム・シーシー食品株式会社)
20年表彰

♥ わたしたち『西宮啓発隊 輪・和・WA』活動中 ♥

今年度後半も多数の依頼を受けさまざまな会に出動しました。

1~2月にかけて北部地域へ4回出動したり、西宮市地域共生推進課からの依頼で市の新入職員さんの研修でもワークを行いました。活動の場が広がっていき嬉しく思っています。

12/10芦原デイサービス内部研修、1/11山口中学校PTA役員向け、2/5塩瀬中学校PTA役員向け、2/6北六甲台ボランティア研修会、2/8西宮市新入職員研修会、2/22民生委員常務研修会



芦原デイサービス内部研修会



山口中学校PTA役員向け



民生委員常務研修会

理事交替のお知らせ

令和元年5月22日付けで、当会理事として橘実千代氏に代わり聖和短期大学 准教授 森知子氏が就任されました。橘実千代様、長年お世話になり、ありがとうございました。

平成30年度 ご寄付 (敬称略・順不同) 平成31年3月末現在

社会福祉法人一羊会 西宮福祉ボランティアグループ雑草 税理士法人丸岡＆パートナーズ
佐々木康晴 栗林和徳 多田英子 新宮吉子 富塙純光 柴田美子

平成30年度賛助会員 (敬称略・順不同) 平成31年3月末現在

佐々木康晴 大西勝代 久米利津子 青山恵里 野口 裕 平井陽子 村内光一 田中まどか
三田谷治療教育院 仲塙千夏 中村喜弘 西井明子 福原隆裕 久保廣高 船曳善幸 増田亜仁
今井広宣 西前珠美 北野泰弘 石垣知美 中田祥貴 玉村悠南 山岡賢治 佐藤寿美 片山みどり
堀江史子 深見秀敏 四方 勝 吉田 高 吉見京樹 谷田松子 松枝千尋 谷口雄大 齊藤啓史
栗原裕実 中村行宏 細見 啓 三木さおり 岡田朱加 花澤陽子 門脇秀弥 永峰千鶴 酒井幸子
大川裕紀 山本 輝 井上 舞 秋山健一 仲野康子 齊藤幸江 古川 勝 塩谷健介 三浦 昇
牧原寛之 北川泰寿 大前繁雄 大前はるよ

(ご贊助のお願い)

当会は、知的障害児・者がその人らしく生きていくための一助になることを願って、様々な活動をしています。ぜひ、賛助会員としてご支援くださいますようお願い申し上げます。

- ・年会費：1口 2,000円
- ・口座番号：00940-9-19101 (ゆうちょ)
- ・口座名義：一般社団法人 西宮市手をつなぐ育成会

編集後記 平成も終わり令和になって初めての「手に手を」をお届けすることが出来ました。これからもますます皆様に楽しんでいただけるような誌面作りをしていきたいと思います。お忙しい中ご寄稿、ご協力いただきました皆様に感謝申し上げます。 広報部一同より